

キャリア通信

夢をはぐくむキャリア教育

～ 大好きな自分 ないたい自分 みんなと生きる自分 ～

平成 26 年 10 月 16 日 No. 13

5年生

絆を育む学校づくり支援事業

和田さんのごぼうづくりから学ぶ

キャリア
プランニング能力

～ 体に良い野菜をつくること 土の命を支えること ～

土にも命がある



草木が生えない足尾銅山を例に、土に命がない場所には植物は生えないというお話から始まりました。『土にも命がある』本来であれば、その土地で育った植物がやがてその土地に返り、またその土の命となる肥やしの役割をする。しかし、農業を行う土地では、その地で育った植物は全て取り除くため、栄養がなくなり土としての命がなくなってしまう・・・というのです。そこで、本来に近い土の状態に戻すための肥料を入れていくことを大切にされているそうです。

また、中国へも土の改良のための支援に出かけているとのこと。それは「隣国を大事にすることは、自国を大事にすることにつながる。砂・土は風に乗ってこちらに飛んで来るし、海もつながっているから。」と話されていたことが印象的でした。

体により作物を提供する

農作物を育てる上で和田さんが最も大切にされていることは、体によいものを提供し、食べる人の健康につなげることだと話されていました。大量に生産することだけを考えるのではなく、美味しさと共に健康も提供することを考えた農業をされていることに、子ども達の農業に対する見方も変わったようです。

和田さんのごぼうは、10年前から学校給食でも使われており、アクが少なく川を剥かなくても食べられるそうです。

子ども達の
感想

私は、和田さんの仕事について肥料には色々なものを加えるなどいいごぼうを作るための工夫がすごいと思いました。また、広い土地の中でたくさんのごぼうをそれもおいしいごぼうを作れることもすごいと思いました。

和田さんから感じたことは「いいものを作って、みんなが健康になってほしい。」という人を感じるようになりました。私もみんなを思う人になりたいです。

5年 濱田 そら

みんなが健康で、病気にならないように貢献したいということから、ごぼう作りを始めた和田さんはとてもかっこいいと思いました。ですが、ごぼう作りは大変ということもわかりました。こんなに苦勞をしてでも責任をもってやっている和田さんの情熱に圧倒されました。

私と和田さんから感じたことは、**情熱と責任感**です。和田さんは、**自分の夢に情熱を注いで頑張っていることがキラキラ輝いて楽しそう**でした。私も大人になったら、自分の夢に責任をもち楽しく夢に向かいたいです。

5年 押岡 はるか

私は農業について、和田さんから話を聞いて農業はその農家の人だけでなく、全国にも野菜を届けられることができ、そのことから農業はたくさんの方の国とかかわりがあるすごい仕事だと思いました。これからも、十勝の農業が進んでほしいと思いました。

和田さんの話を聞いて、和田さんがこの仕事につけたのは、どんなことがあっても**諦めずに努力したことだ**と思います。そのことがあの**甘いごぼうにつながったんだ**と思います。私も**和田さんのように好きな仕事について楽しく生活**したいと思いました。

5年 山口 みずき